



新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。本会の今年度の目標はピアカウンセラー養成講座を開催する地域や仲間を増やすことと、思春期ピアカウンセリング・ピアエデュケーションの効果測定を行うことです。ご関心のある方々と一緒に実施していきたいと考えていますので、ご協力よろしくをお願いいたします。

◆2013年度思春期ピアカウンセラー養成数◆

NO	都道府県 (実施自治体)	平成25年度養成人数		
		男	女	合計
1	北海道【湯谷】	4	11	15
2	青森県【岩間】	0	6	6
3	秋田県【岩間】	2	16	18
4	岩手県【後藤】	1	27	28
5	宮城県【和泉】	3	23	26
6	山形県【遠藤】	1	9	10
7	福島県【石田】	4	14	18
8	栃木県【高村】	1	45	46
9	群馬県【池田】	0	40	40
10	長野県【赤澤】	0	12	12
	長野県【松田】	2	8	10
11	兵庫県【高田】	3	13	16
12	鳥取県【前田】	1	5	6
13	香川県【松本】	0	12	12
14	愛媛県【黒田】	1	9	10
15	熊本県【前田】	0	8	8
16	鹿児島県【下敷領】	1	9	10
	計	24	267	291

## 平成 25 年度 思春期ピアカウンセラー養成者認定・ ブラッシュアップセミナー開催される

総務担当理事 安達久美子

あけましておめでとうございます。会員の皆さま、よいお年をお迎えのことと思います。さて、昨年の 11 月 3 日、4 日に、第 7 回となります思春期ピアカウンセラー養成者認定・ブラッシュアップセミナーが開催されました。今回は、養成者認定受験者、今後の認定受験を目指す方、既に認定者として活動されている方など合計で 11 名が参加くださいました。そして、新たに 4 名の認定養成者が誕生いたしました。新たな認定者のうち 2 名は、ピアっ子の OG です。ここで新しく養成者となったお二人に、認定試験に合格した喜びとその意欲を語ってもらいます。

今回のブラッシュアップセミナーでは、ブラッシュアップとして、「チームビルディング」、「ワールドカフェ」を行いました。本会の活動も 9 年目を迎えてピア活動を経験しているピアっ子が養成者となり、また、ブラッシュアップでは、毎年新しい視点を取り入れて、ピアっ子に寄り添うスキルアップを重ねています。是非、次年度も、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



## 養成者認定試験・ブラッシュアップ講座を終えて

オーケクリニックフォーミズ病院 藤原菜穂子

今から 9 年前、高校 2 年生だった私は、自治医大のオープンキャンパスでピアカウンセリングに出会いました。初めて味わった、心地よいピアの空間、自分の心と会話する時間、アンドロギュノスの神話、そのどれもが新鮮でワクワクして「これだ！」と心を掴まれたその瞬間が今の私の原点になります。

大学入学後、ピアカウンセラーとなってからの 4 年間を通して得られたことは語りつくせないほどありますが、ピアカウンセリングに出会い、最も影響を受けているのはピアっことして活動する自分自身ではないかと思うようになりました。自分には譲れない夢があるということ、周りの人の気持ちに目を向けること、声を大にしてメッセージを送り続けること、自分を好きになれたこと、先輩後輩を超えてピアのハートでつながる大事な仲間

に巡り合えたこと。そして、これまでのどの場面もあたたかくパワフルな大人の人たちが見守ってくれたからこそ、自分たちは安心して活動してることができたと感じました。卒業後は、これまでのピアっことしての経験を生かし、次は自分がのびのびと活動するピアっこを支える側になりたいと思い、養成者養成講座に挑戦しました。

今までの活動を通して体に染みついていたピアカウンセリングやセクシュアリティも、これからピアを始める受講生を目前にいざ自分の言葉で語ろうとすると、言葉の端々から内容の理解の甘さを実感し、もっと勉強していききたい思いと「養成する」という難しさに日々直面しています。

そんな中、これまでたくさんお世話になった養成者の皆さんに見守られ、認定試験に合格できたことを心から嬉しく思っています。これからはかつて自分自身がそうであったように、ピアっこ自身がやりがいを感じて活動に取り組んでいけること、そして安心して活動できる場所を提供できることが目標です。また日本ピア研の一員として、日本が直面する思春期の課題に貢献できるよう、自己研鑽していききたいと思っています。



## ピアカウンセラー養成者養成講座での認定を受けて

鳥取大学医学部保健学科 鈴木康江

新年おめでとうございます。

さて、突然ですが、「鳥取県」について皆さんはどのようなイメージをお持ちでしょうか？もしかして、「それって、どこにあるの？」なんて思っちゃる方もいるかもしれませんね。中国地方で日本海に面している、全国で最も人口の少ない県です。その県で、残念ながら日本一、人工妊娠中絶率が高いという、悲しい記録も持ち合わせておりました。この嘆かわしい現実をどのように打開するのか、ということに向き合い、「思春期ピアカウンセリング」の手法を鳥取県にも…と導入されたのが、私の前任者の前田隆子鳥取大学名誉教授でした。当時、ピア活動をなんとなく眺めて活動の概要は知っていましたが、どのような仕組みになっているかは、恥ずかしながら全く知りませんでした。実際に足を踏み入れたのが3年前です。踏み込んで初めてピア活動がしっかり体系化していると知りました。

養成者養成コースを4日間にわたり受講、更に臨地研修をして後2日間の受講、その間に試験もあります。そしてこれらを終了したあと、また研修を積み、ブラッシュアップ研修を受講。ようやく養成者認定試験を受けることができます。ここが、100%合格の世界ではなく、しっかり選抜されていきます。甘くみていた私には予想以上に厳しいシステムでした。めでたく、2013年11月5日に合格証書を頂いた時には、証書の重さを感じました。鳥取県では、中高校生や大学生にエデュケーションやカウンセリングを実施したり、マスコミからも取り上げられるなど、広く知られるようになりました。この陰には県庁の山根仁子保健師さんなどの非常に大きなバックアップ体制があったからなのです。ですから、

私が本格的に活動する時点では、非常にやりやすい体制になっていました。ピアっ子達が活動しやすいように、そしてより効果的な活動ができるよう益々力を入れていきたいところでもあります。今や、ピアは性教育活動のみではなく、子どもたちの自尊感情の向上、デートDVやいじめ防止、セクシャルマイノリティなど広い領域での活動をしています。



アインシュタインは「学校で学んだことを、すべて忘れてしまっても残るのが教育だ」と言っています。私たちのピア活動を受けた子ども達が、これから生きていく上で少しでも記憶に残り、生きていく糧になれば、私たちの活動はホンモノの「教育」になれるでしょう。年頭にあたり、ピアっ子達とホンモノの「教育」ができる活動を今年も鳥取県で大きく展開していきたいと考えております。今後とも、よろしくお願いいたします。

## 思春期ピアカウンセリングに関する研究への取り組み

梶山女学園大学 看護学部 服部律子（ピアカウンセラー認定講師）

“若者たちが変わってきた”、これは若者たちとかかわる人の多くが肌で感じている実感ではないでしょうか。土井（2008）は社会学的研究から若者たちにみられる現象を「友だち地獄」と表現し、「若者の性」白書-第7回 青少年の性行動全国調査報告(2013)でも若者たちの性行動の変化が報告されています。

2004年に本研究会高村代表らによって、厚生労働科学研究の成果として、性=生、性の問題を自らの生き方の問題と捉えて自己決定能力を高めることを重視した思春期ピアカウンセラーの養成及びピアカウンセリング手法による性=生の健康教育の実践のためのプログラムが開発されて約10年が経過しました。冒頭で述べたように若者たちが変化してきた現状の中、思春期ピアカウンセラー養成やピアカウンセリング手法による性=生の健康教育の効果の検討は緊急の課題といえます。

平成25年度日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会総会および併設された研究会と、第5回ピアカウンセリング全国大会認定講師会議において、これらの話し合いが重ねられ、認定講師者が独自に取り組みつつある研究を統合発展させ、「思春期ピアカウンセリングの有効性の検討」に着手することとなりました。

今年度はT県等での思春期ピアカウンセラー養成講座（前期講座）で収集したデータの分析を行い、受講者の変化を明らかにし、さらに平成26年度以降、思春期ピアカウンセラー養成やピアカウンセリング手法による性=生の健康教育の有効性についての研究を重ねていきたいと考えています。各関係者のご協力をよろしくお願いいたします。

### 〈編集後記〉

新しい年を迎え、2013年度ピア活動も総まとめの時期に入りました。今年も厳寒の日本列島のように。ご自愛ください。

日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会  
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1  
自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門  
電話 0285-58-7338  
FAX 0285-44-7217  
発行人 高村寿子 編集人 前田ひとみ  
年3回発行 <http://www.jpcaea.net/>